



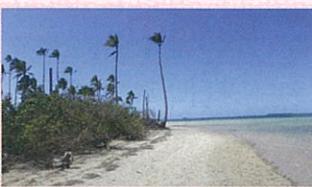
第7回 トンガ王国



中央が河村先生(マリマリプログラムで学校に体重計と姿見を寄贈)



埼玉県にゆかりがあり、現在海外で活躍している方にその国の紹介をしていただくシリーズ「世界の国からこんにちは」。今回は、「南太平洋医療隊」として1998年からトンガ王国で口腔ケア(予防歯科)の推進にボランティアとして携わっておられる歯科医師の河村康二先生に「トンガ王国」を紹介していただきます。

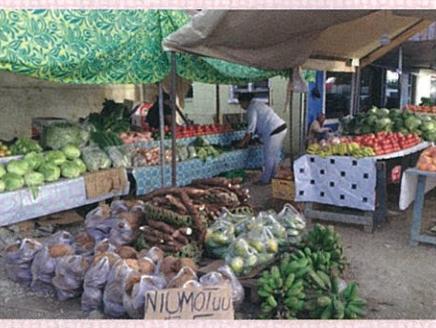


青い海と青い空



王様のいる国「トンガ王国」

南太平洋ポリネシアの一つ「トンガ王国」は、南北に長く約170の島々と4つの諸島からなる立憲君主国です。国民は王様がいることで植民地化されなかったため、王様を尊敬し、トンガ王国を誇りに思っています。近年は民主化も進んでいます。日本からは直行便ではなく、ニュージーランドのオークランド経由で16時間かけて首都ヌクアロイファに着きます。人口は約11万人で、ポリネシアン特有の大柄な人が目立ち、元力士の南乃島(現在はトンガで警察官)、2015年ラグビーワールドカップで五郎丸選手と共に活躍したホラニ龍コリニアシ選手もトンガ出身です。トンガではラグビーが盛んで小さな頃から男子の多くが競技し、強い選手は海外で活躍しています。キャプテンクックがトンガ王国に初めて上陸した際にトンガの人々は大歓迎し、キャプテンクックはおおらかで温かなトンガの人々と接し、「フレンドリーアイランド」と名付け、他の国のように植民地化されなかったと言われています。



街の市場(手前にココナツ、真ん中にイモ)

人々の暮らしは?輸出品目1位は…



ごちそうの豚の丸焼き

トンガはキリスト教国です。日曜日は飛行機も飛ばず、お店も閉まります。日曜日にお店が営業するためには政府に許可をもらう必要があります。首都のあるトンガタブ本島ではテレビが見られますが、他の島ではテレビではなくラジオのみです。携帯電話からのダイレクトな国際通話は日本より早くできるようになりましたが、携帯電話の利用者が多いため、インターネットへの接続はあまりよくありません。国家公務員の初任給は約45,000円、ガソリン1Lは約120円。経済的には自立しておらず、出稼ぎにアメリカ、ニュージーランド、オーストラリアに行く人が多くいます。トンガの主な輸出品目はカボチャです。日本で冬期の始めにお店に並ぶカボチャの中には、トンガ産のカボチャがあり、日本へのカボチャの輸入量は第5位です(平成24年度貿易統計より)。ババウ島では真珠を養殖していて、高級品として販売されています。香辛料のバニラも有名です。

おすすめの観光地と食べ物

私のオススメは、エウア島の「オババの木」です。「オババの木」の幹は5~6mあり、その木が一帯に生茂っています。エウア島自分が屋久島に似ており、2時間くらいで島一周をトレッキングできるので、ぜひ行ってみてください。「ホエールウォッチング」も人気があり、クジラと一緒に泳ぐことができます。トンガの主食はイモで、何種類ものイモが市場に並んでいます。また、様々な料理にココナッツが使われます。冠婚葬祭のごちそうは「豚の丸焼き」です。トンガの人と初めて昼食を食べたとき、パン半斤、コンビーフ1缶、ファンタ500ml、棒状のバター1本をとっていました。このメニューからもわかるようにトンガは世界屈指の肥満国で、糖尿病と肥満が大きな問題となっています。

南太平洋医療隊では、予防歯科の観点から小学校や幼稚園などに歯磨き、フッ化物洗口指導、生活習慣病の予防プログラムとしてラジオ体操を教え、身長計、体重計と姿見を全中高等学に設置する「マリマリプログラム」(※)「マリマリ」は日本語で「笑顔」を実施しています。小さな子供から歯磨き、運動習慣を身につけ、さらに成人には、政府職員、軍人、囚人にも全身の健康に寄与するプログラムとして、ムシ歯と歯周病の予防の歯科保健指導と肥満度、血圧、血糖値について教育し、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病の減少を図る活動を行っています。



伝統的な織物「タパ」を身に付ける正装(国王のお母様のロイヤル葬儀の様子)



上級生が下級生に歯磨き指導中

軍隊での歯科保健指導

GGSからのお知らせ①

留学生が仕事体験!
埼玉県グローバル人材向け
インターンシップ事業

埼玉県では、学生が実社会で活躍していくために必要な実践力を養うことを目的としたインターンシップ事業を実施しています。今回、インターンシップ生を受け入れている県内企業・団体のうち株式会社デジタルベリーを訪問し、インターンシップの現場を取材しました。

インターンシップ生のクリスティーナ・グスマン・トレスさん(右)と
インターンシップ担当者(左)



クリスティーナさんの感想

実習期間中、驚いたことが沢山ありました。最初に驚いたことは初日私の自己紹介の後に社員のみなさんがスペイン語で挨拶をしてくれたことです。温かく迎えて下さっていることが伝わりとても嬉しかったです。また、朝就業前にオフィスを掃除することは、ヨーロッパではありませんでした。翻訳以外にも、商談に同行、日本の営業や株式会社の講義を受けました。海外と全く違う日本のビジネス文化や、新しい言葉を沢山学びました。社員の方とご飯を食べに行った時に話す内容が大学生の友人と話す内容とは違い、新鮮で楽しかったです。将来翻訳家を目指していますが、今回の実習を通して在宅よりもオフィスで人と会話をしながら働くスタイルが向いていると実感しました。

プレゼンをするクリスティーナさん(左奥)と
赤羽根社長(右奥)

- インターンシップ担当者の感想
指示を出さなくてもどんどん仕事をしてくれて「即戦力とはこういうことか」と気付き、大変勉強になりました。
- 赤羽根社長の感想
外国人雇用のイメージがだいぶ具体的になりましたし、社内のグローバル感覚も高くなりました。

GGSからのお知らせ②

10/29
日

高校生のためのグローバルセミナー

今、埼玉県民のおよそ50人に1人は在留外国人です。
私達の周りに外国人が増えているけど、「多文化共生」って何から始めたらいいんだろう?
外国人留学生や留学経験のある日本人学生とディスカッションしながら、
一緒に考えてみませんか?「私ができること」

日 時 10月29日(日) 10:00~17:00(受付9:30~)

場 所 ソニックスシティビル9階906会議室

参 加 費 無料(昼食をお持ちください)

対 象 埼玉県内に在学又は在住している高校生

定 員 40人(先着順)

申込方法 10月24日(火)までに、
ホームページの参加申込フォームからお申込みください。

主 催 埼玉県・埼玉大学・(公財)埼玉県国際交流協会

問い合わせ先

グローバル人材育成センター埼玉(当協会内)
TEL:048-833-2995 Email:global@sia1.jp (siaの次は数字の1)



ホームページQRコード